平成 30 年度

保健師助産師看護師実習指導者講習会

募 集 要 項

横浜市立大学

1. 目的

看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように、必要な知識・技術を習得し、看護職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2. 主催

横浜市立大学医学部看護学科

3. 期間

平成 30 年 8 月 1 日(水)~11 月 30 日(金)

全日数:40 日程度

※授業日数は、変動する場合があります。

4. 場所

横浜市立大学医学部看護学科看護教育研究棟

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

電話:045- 787-2521

※敷地内で場所の変更が生じる場合があります。

※実習場所は、主に横浜市立大学附属 2 病院となります。

5. 受講人員

40 名

6. 応募資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

(1)神奈川県内の病院等に勤務し、所属長の推薦がある者

(2)保健師、助産師、看護師の資格取得後 3 年以上の実務経験を有し、現在、病院等で実習指導を担当している者、又は今後担当する予定の者(実務経験年数は平成 30 年 4 月 30 日現在とする)

7. 教育内容

【教育目的】

看護教育についての理解を深め、実習指導に必要な知識・技術を習得し、効果的な実習指導ができる人材を育成する。

【教育目標】

1. 実習指導の基礎となる教育的素地を養う。
2. 自己の看護実践を振り返り、看護に対する認識を深める。
3. 看護教育における臨地実習の意義を理解し、実習指導者の役割について学ぶ。
4. 実習指導の実際を振り返り、自己の課題を見つけ、学習を継続する態度を養う。

8. 修了証書

講習会修了者には、修了証書を交付する(全体の 4/5 以上出席が必要である)

9. 提出書類

(1)受講申込書(様式 1-1)

(2)推薦書(様式 1-2)

(3)受講者の課題(様式任意、書式設定あり)

テーマ「実習指導者講習会で学びたいこと -実習指導における課題と将来像-

上記をテーマとした小論文を、A4 版 1 枚(1,200-1,400 字)にまとめる。原則として、PC を用いて書式設定は、フォント:MS 明朝、文字サイズ:11 ポイント(タイトルのみ 14 ポイント)、文字数:42 字(1 行)×行数:36 行、余白:上下 30mm、左右 25mm、を厳守すること。なお、用紙には、テーマ、所属名、氏名、具体的内容(本文)の順に記載し、本文の前には一行スペースを設ける等、適宜レイアウトを整えること。本文に用いる英数字はすべて半角とする。

10. 提出期日

平成 30 年 5 月 31 日(木)(当日消印有効)

11. 提出先

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

公立大学法人 横浜市立大学

医学・病院統括部

医学教育推進課 学務・教務担当

12. 受講者の決定

選考の上、所属施設長(看護部長)あてに通知する。

13. 受講料

36,800 円(予定)

※e-learning 受講費用(昨年度参考 16,800 円)を含みます。

※その他、書籍・テキスト代、交通費は自己負担となります。

※受講料振込みの案内は、後日受講者宛に通知の予定です。

【カリキュラム】 科目・担当講師一覧

科目	時間	担当講師等	所属	職名
【教育に関する科目】				
教育原理*	6(30)		*e-learning	
教育心理*	18(30)		*e-learning	
教育方法** : 指導の基本的考え方 : 講義・演習	30(15)		*e-learning	
	15	勝山貴美子 他	横浜市立大学医学部看護学科	教授
教育評価*	6(15)		*e-learning	
看護(教育)論: 看護の理論、看護過程の展開	18	佐藤みほ 他	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
看護教育課程(1): 看護教育課程の理解	4	落合亮太	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
(2): カリキュラムの構成と実習のねらい	4	有本梓	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
(3): 各領域の教育課程 (基礎、成人(慢性期) 成人(急性期)小児、母性 老年・在宅、精神、地域)	16	徳永友里 (各領域教員)	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科	講師
: 課題の構造化	6	高野歩	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
【看護実践に関する科目】				
医療倫理・看護倫理	2	勝山貴美子	横浜市立大学医学部看護学科	教授
学生に関する情報収集とアセスメント、指導目標の設定と方法	4	今津陽子	横浜市立大学医学部看護学科	講師
指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際 (基礎、成人(慢性期) 成人(急性期)小児、母性 老年・在宅、精神、地域)	16	土肥眞奈 (各領域教員) 濱崎登代子 鈴木美智子	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	講師 看護部長 看護部長
安全管理	4	塚越みどり	横浜市立大学医学部看護学科	准教授
多職種連携・チーム医療・継続医療	2	陣田泰子	看護キャリア開発支援センター	センター長
【実習指導等に関する科目】				
実習指導の原理(1): 実習指導とは : 実習指導者の役割 : 施設との連携・調整	7	佐藤政枝	横浜市立大学医学部看護学科	教授
(2): 実習受け入れの体制 : 病棟指導の実際 (オリエンテーションからカンファレンスまで)	7	濱崎登代子 鈴木美智子	横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	看護部長 看護部長
臨地指導法演習 : 実習で必要な看護技術	16	大山裕美子	横浜市立大学医学部看護学科	講師
実習指導の実際(1): 実習指導の計画立案	12	佐藤朝美 (各領域教員) 濱崎登代子 鈴木美智子 (実習指導者)	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	准教授 看護部長 看護部長
(2): 臨地実習 : リフレクション	40	濱崎登代子	横浜市立大学附属病院	看護部長
	4	鈴木美智子 (実習指導者)	横浜市立大学附属市民総合医療センター	看護部長
実習指導の評価	16	飯田真理子 濱崎登代子 鈴木美智子	横浜市立大学医学部看護学科 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター	准教授 看護部長 看護部長
【看護師2年課程通信制に関する科目】				
看護師2年課程通信制の教育制度	2	田辺有理子	横浜市立大学医学部看護学科	講師

*: 授業に e-learning を採用 **: 授業の一部に e-learning を採用

※ 時間欄の () 内は、e-learning 形式の授業時間数を示します。

※ 担当講師は都合により、変更することがあります。

平成 30 年度 実習指導者講習会 日程表

日程	実施日	【午前】	【午後】
		科目名	科目名
第 1 日目	8 月 1 日(水)	【午前】 (1 限) 8:30~9:30 (2 限) 9:35~10:35 (3 限) 10:45~11:45 (4 限) 11:50~12:50 開講式・オリエンテーション 教育原理①*(e-learning)	【午後】 (5 限) 13:40~14:40 (6 限) 14:45~15:45 (7 限) 15:55~16:55 (8 限) 17:00~18:00 教育原理②③④⑤*(e-learning)
第 2 日目	8 月 2 日(木)	看護(教育)論①②③④	看護(教育)論⑤⑥⑦ 教育原理⑥*(e-learning)
第 3 日目	8 月 7 日(火)	看護(教育)論⑧⑨⑩⑪	看護(教育)論⑫⑬⑭ 教育原理⑦*(e-learning)
第 4 日目	8 月 8 日(水)	看護(教育)論⑮⑯⑰⑱	教育原理⑧⑨⑩⑪*(e-learning)
第 5 日目	8 月 16 日(木)	看護教育課程(2)①②③④ カリキュラムの構成と実習のねらい	教育原理⑫⑬⑭⑮*(e-learning)
第 6 日目	8 月 17 日(金)	教育原理⑯*(e-learning) 教育方法①②③	教育方法④⑤⑥ 教育原理⑰*(e-learning)
第 7 日目	8 月 27 日(月)	看護教育課程(1)①②③④	看護師 2 年課程①② 教育原理⑱⑲*(e-learning)
第 8 日目	8 月 30 日(木)	教育原理⑳*(e-learning) 教育方法⑦⑧⑨	教育方法⑩⑪⑫ 教育原理㉑*(e-learning)
第 9 日目	8 月 31 日(金)	教育方法⑬⑭⑮ 医療倫理・看護倫理①	医療倫理・看護倫理② 教育原理㉒㉓㉔*(e-learning)
第 10 日目	9 月 5 日(水)	看護教育課程(3)①②③④ 各領域の教育課程	看護教育課程(3)⑤⑥ 各領域の教育課程 教育原理㉕㉖*(e-learning)
第 11 日目	9 月 6 日(木)	看護教育課程(3)⑦⑧⑨⑩ 各領域の教育課程	看護教育課程(3)⑪⑫ 各領域の教育課程 教育原理㉗㉘*(e-learning)
第 12 日目	9 月 7 日(金)	看護教育課程(3)⑬⑭⑮⑯ 各領域の教育課程	教育原理㉙㉚*(e-learning) 教育心理①②*(e-learning)
第 13 日目	9 月 10 日(月)	学生に関する情報収集とアセスメント ①②③④	多職種連携①② 教育心理③④*(e-learning)
第 14 日目	9 月 14 日(金)	看護教育課程(3)⑰⑱⑲⑳	看護教育課程(3)㉑㉒ 教育心理⑤⑥*(e-learning)
第 15 日目	9 月 18 日(火)	実習指導の原理(1)①②③④	実習指導の原理(1)⑤⑥⑦ 教育心理⑦*(e-learning)
第 16 日目	9 月 19 日(水)	実習指導の原理(2)①②③④	実習指導の原理(2)⑤⑥⑦ 教育心理⑧*(e-learning)
第 17 日目	9 月 25 日(火)	教育心理⑨⑩⑪⑫*(e-learning)	教育心理⑬⑭⑮⑯*(e-learning)
第 18 日目	9 月 26 日(水)	教育心理⑰⑱⑲⑳*(e-learning)	教育心理㉑㉒㉓㉔*(e-learning)
第 19 日目	10 月 2 日(火)	指導場面で遭遇しやすい看護実践と 指導の実際(各領域)①②③④	指導場面で遭遇しやすい看護実践 と指導の実際(各領域)⑤ 教育心理㉕㉖㉗*(e-learning)
第 20 日目	10 月 3 日(水)	指導場面で遭遇しやすい看護実践と 指導の実際(各領域)⑥⑦⑧⑨	指導場面で遭遇しやすい看護実践 と指導の実際(各領域)⑩⑪⑫ 教育心理㉘*(e-learning)

平成 30 年度 実習指導者講習会 日程表(参考)

日程	実施日	【午前】	【午後】
		科目名	科目名
		(1 限) 8:30~9:30 (2 限) 9:35~10:35 (3 限) 10:45~11:45 (4 限) 11:50~12:50	(5 限) 13:40~14:40 (6 限) 14:45~15:45 (7 限) 15:55~16:55 (8 限) 17:00~18:00
第 21 日目	10 月 4 日(木)	指導場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際(各領域)⑬⑭⑮⑯	教育心理⑳㉑* (e-learning) 教育方法①②* (e-learning)
第 22 日目	10 月 10 日(火)	臨地指導法演習①② 実習に必要な看護技術 安全管理①②	安全管理③④ 教育方法③④* (e-learning)
第 23 日目	10 月 11 日(木)	臨地指導法演習③④⑤⑥ 実習に必要な看護技術	臨地指導法演習⑦⑧⑨ 実習に必要な看護技術 教育方法⑤* (e-learning)
第 24 日目	10 月 12 日(金)	教育方法⑥⑦⑧⑨* (e-learning)	教育方法⑩⑪⑫⑬* (e-learning)
第 25 日目	10 月 16 日(火)	教育方法⑭⑮* (e-learning) 実習指導の実際(1):実習指導の計画立案(講義・演習)①②	実習指導の実際(1):実習指導の計画立案(講義・演習)③④⑤ 教育評価①* (e-learning)
第 26 日目	10 月 17 日(水)	臨地指導法演習⑥⑦⑧⑨ 実習に必要な看護技術	臨地指導法演習⑩⑪⑫ 実習に必要な看護技術 教育評価②* (e-learning)
第 27 日目	10 月 18 日(木)	臨地指導法⑩⑪⑫⑬	臨地指導法⑭⑮⑯ 教育評価③* (e-learning)
第 28 日目	10 月 22 日(月)	実施指導の評価①②③④	実習指導の評価⑤⑥ 教育評価④⑤* (e-learning)
第 29 日目	10 月 23 日(火)	実施指導の評価⑦⑧⑨⑩	実習指導の評価⑪⑫ 教育評価⑥⑦* (e-learning)
第 30 日目	10 月 24 日(水)	教育評価⑧⑨⑩⑪* (e-learning)	教育評価⑫⑬⑭⑮* (e-learning)
第 31~ 40 日目	10 月 29 日(月) ~ 5 日間	臨地実習予備期間	
	11 月 5 日(月) ~ 5 日間	実習指導の実際(2):臨地実習 1 クール目①~④⑩:20 名	
	11 月 12 日(月) ~ 5 日間	実習指導の実際(2):臨地実習 2 クール目①~④⑩:20 名	
第 41 日目	11 月 19 日(月)	実習指導の実際(2)①②③④(仮)	
第 42 日目	11 月 20 日(火)	実習指導の評価⑬⑭⑮⑯	
第 43 日目	11 月 30 日(金)	閉講式	

※1) ①②③…の数字は講義回数(各1時間)を示しています。

※2) 本表における e-learning 受講日時はモデルケースの一例であり、各自の自己学習計画に沿った受講スケジュール調整が可能です。

※3) 日程は諸事情により一部変更になる場合があります。その際は大学 web ページの講習会の案内ページにてお知らせします。

※4) 臨地実習は 2 クールに分けて、各 20 名で実施します。ただし、諸事情によりクールを跨ぐ期間に設定される場合や、予備期間で実施する可能性があります。その際は事前にお知らせをいたします。

「保健師助産師看護師 実習指導者講習会」申込書

平成 年 月 日現在

フリガナ		フリガナ		写真 3×4cm
氏名	印	現住所 ※両メールアドレ ス必須	〒 ー TEL () 携帯 mail @ PC mail @	
性別	男 ・ 女	勤務先 (部署名)	〒 ー TEL ()	
生年月日 (年齢)	年 月 日 (満 歳)			
学 歴 (高等学校以降の学歴をご記入下さい)※高校卒業含む				
年 月		事 項		
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
職 歴 (実務経験及び実習指導経験、病棟名・診療科と職位をご記入下さい)				
年 月		事 項		
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
現在の職位又は役職() / 実務年数 計()年				
免 許 ・ 資 格 (保健医療に関する事項)				
年 月		事 項		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
〈緊急連絡先〉				
住所 〒 ー				
TEL(携帯電話) ()				
☐ 私は、推薦のあった現勤務先に在職し、本講習会を受講いたします。 ※ 同意できる場合には ☒ を入れて下さい。				

横浜市立大学

平成 29 年度 実習指導者講習会 科目の概要

科目	概要
教育原理	教育の意義、教師のあり方や生徒指導、さらには教育を成り立たせている法や制度等、幅広い観点から教育の基礎について理解する。
教育心理	社会の変化や人間の成長発達、性格の特徴といった観点から、教育の受け手である子どもや青年の特徴について理解する。
教育方法論	日本の教育の特徴を踏まえて、教育と学びの歴史、学習指導の実際と指導技術、いろいろな指導法について理解し、事例研究的教授法について実習する。
教育方法論（講義・演習）	学習者の理解と、学習者を動機づけることの意味と意義を理解する。また、教育カリキュラムの基本的要素である教育内容、方法、その効果的な教材の活用など学習する。また、自身の持つ臨床実習上の問題を、事例を通して検討することを通して、看護専門職としての効果的な教育方法について理解する。
看護（教育）論	社会の変動の中における教育と看護について理解し、その課題を明確にする。講義は、看護学教育制度の歴史的変遷と現代の看護学教育制度の現状と課題、看護の概念と理論、看護を展開する方法としての看護過程を学ぶ。
医療倫理・看護倫理	倫理とは何かという基本的な概念を理解し、なぜ、医療において倫理に注目すべきか、臨床における倫理的な課題をどのようにとらえ、考えるべきか、その道筋を理解する。
教育評価	教育評価の目的や必要となる視点や評価方法について、日本の教育改革の変遷をたどりつつ理解する。
看護教育課程（1）	看護職基礎教育課程の基盤となっている保健師・助産師・看護師学校養成所の指定規則やそれに関連する法律、国家試験出題基準の変遷や厚生労働省や文部科学省の看護基礎教育に関する報告書等の経緯を知り、現在の教育の目指す方向性について理解する。
看護教育課程（2）	本大学の設置主体や教育方針に基づいた看護学科の教育理念、目標とカリキュラムの構成について理解する。
看護教育課程（3）	各看護学領域（基礎、成人（慢性期、急性期）、小児、母性、老年・在宅、精神、地域）の教育課程について、教育目的・目標・内容、および実習指導のあり方と実際への理解を促す。また、研修生が日常感じている臨地実習指導の現状とその課題について、グループワークを通じて意見を出し合う。
学生に関する情報収集とアセスメント	近年の学生状況と生活背景を踏まえ、学生に関する情報収集の視点・方法について理解する。また、臨地での学生の事例をもとに、情報のアセスメントを行い、具体的な指導目標の設定と方法について理解する。
実習場面で遭遇しやすい看護実践と指導の実際	各看護学領域（基礎、成人（慢性期、急性期）、小児、母性、老年・在宅、精神、地域）の看護実践について、①実習場面で遭遇しやすい紙上事例の看護過程を展開、および②指導者としての立場からの学生への指導・支援のあり方と実際、の2点からグループワークを中心とした学習を展開する。
安全管理	臨床実習におけるインシデントやヒヤリ・ハットの事例や対応、学生側の心理などを紹介し、臨床実習場面における予防策、教育的支援について理解する。
多職種連携・チーム医療・継続医療	現在の医療情勢における多職種連携、多機関間の連携の重要性を知り、チーム医療や継続医療のあり方について理解する。
実習指導の原理（1） 実習指導の原理（2）	学生が各看護学の講義・演習により得た知識、技術を基に看護を実践し、既習の理論・知識・技術を統合、深化、検証できるように支援するための原理原則と、学校と実習施設との調整に関する具体的な方法を理解する。
臨地指導法演習	臨床実習に必要な援助技術の演習等に実際に参加し、看護基礎教育の実際や学生のレディネスを理解するとともに、グループワーク等を通じて臨床実習場面における教育的支援や教育方法を討論する。
実習指導の実際（1）	配置された病棟の実習指導を前提に、実習指導の計画立案の実際を学ぶ。
実習指導の実際（2）	実習指導計画をもとにした臨地実習指導の実際を学ぶ。 実習指導実施後に、リフレクションを行う。
実施指導の評価	実習指導の原理を踏まえ、実習指導の実際を通して、実習指導の評価を行う。
看護師 2 年生課程通信制の教育制度	看護師 2 年生課程通信制の教育制度についての解説を行う。